

認知症への理解を!!

国際アルツハイマー病協会 (ADI: 100の国と地域が加盟) が本人や家族への施策が充実されることを目的に、世界中で啓発活動を行っています。日本(「家族の会」)では、全国各地で啓発リーフレットを配布する活動や記念講演会の開催などに毎年、取り組んでいます。



全国各地で、認知症支援のオレンジ色のライトアップをしています (写真は昨年度の様子)

「家族の会」は、認知症になっても安心して暮らせる社会にむけて活動しています。

2019年3月28日に、「認知症の人も家族も安心して暮らせるための要望書(2019年版)」を厚生労働省や関係する省庁に提出しました。



認知症の人も家族も安心して暮らせるための要望書(2019年版)

- I. 認知症の本人への支援についての要望
- II. 介護家族支援についての要望
- III. 介護保険制度をはじめとする制度・諸施策についての要望
- IV. まちづくり・環境整備などについての要望
- V. 認知症の人と家族に対する社会的取り組みについての要望



認知症意識調査アンケートのお願い

認知症のイメージや認知症の人を介護することについて等、認知症意識調査のアンケートにご協力ください。



公益社団法人 認知症の人と家族の会

代表理事 鈴木森夫

〒602-8143 京都市上京区梅畑通丸太町下る仲之町519番地
京都社会福祉会館

TEL.075-811-8195 FAX.075-811-8188

ホームページ <http://www.alzheimer.or.jp>



認知症の電話相談 (通話無料)

0120-294-456 (10:00~15:00 土日祝を除く)

携帯電話からは 075-811-8418 (通話有料)

(支部連絡先)

■新潟県支部

〒941-0006
糸魚川市竹ヶ花45 金子裕美子方
TEL/FAX (025) 550-6640

忘れても一人ひとりが主人公



認知症になっても安心して暮らせる社会を

9月21日は世界アルツハイマーデー



公益社団法人 認知症の人と家族の会
Alzheimer's Association Japan

- ぜひあなたも「家族の会」へ。
- 活動内容、各地のつどいなどの情報はホームページをご覧ください (年会費5,000円)

家族の会



国際アルツハイマー病協会提唱 後援/厚生労働省



alzheimer.or.jp



fb.com/azokunokai



@kazokunokai

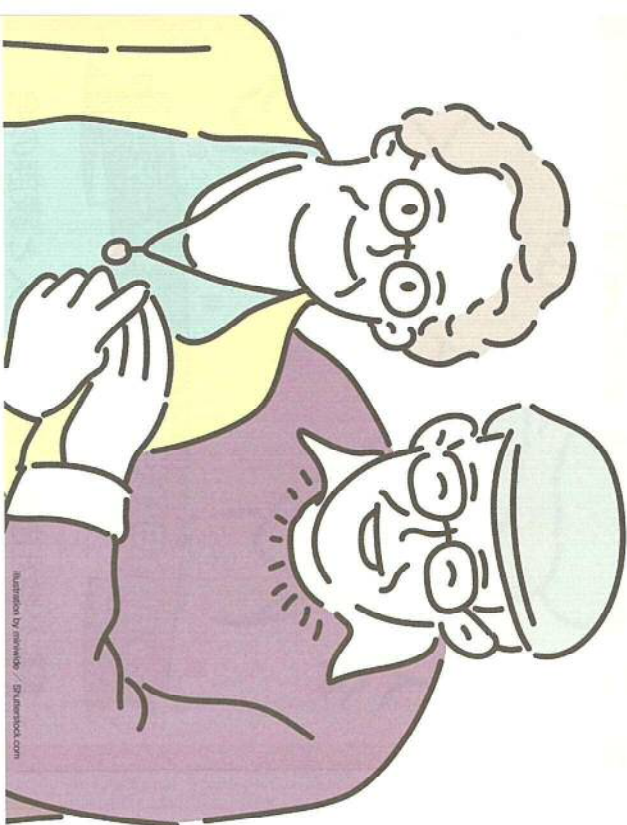
オレンジ色でつばやこう 世界アルツハイマーデー

あなたも一緒に考えてください

誰もがづらい思いをしないために ～認知症と車の運転、加齢と車の運転について～

運転をやめることでの葛藤

- (家族) 事故が起きてからでは、とりかえしがつかない。
- 運転をやめたら病状が悪化しないかと不安である。



運転をやめることでの困難

- (家族) 本人がとても落ち込んで、閉じこもりがちになった。
- 返納後も車があると乗りたがり、とても困った。
- タクシー代などの負担が多くなり、経済的に大変。
- 自転車で遠くまで行くようになってしまい心配。



認知症と診断された人の運転は認められていない

- 2017年の道路交通法の改正で、免許更新時等における認知機能検査の結果、専門医の受診が必要となり、認知症と診断された人の自動車の運転は認められていません。
- 高齢者の運転事故は、体調の急変や様々な安全運転に必要な機能の低下によるものであり、必ずしも認知症が原因のものばかりではありません。実際、高齢運転者死亡事故の内、この認知機能検査で「認知症の疑い」とされていた人は約7%でした(2017年度警察庁統計)。

※免許返納についてのご相談は、お近くの警察署や各都道府県が設置する運転適性相談窓口へ。

社会的支援体制の整備を!

「家族の会」が出した「認知症の人の自動車運転」に関する声明文



- 1 運転免許自主返納・取消について、支援体制の充実を望みます。
- 2 認知症の人と家族の生活の継続を保障できる交通環境の整備や支援を望みます。
- 3 認知症の人の持つ能力に応じた評価ができる仕組みの確立を望みます。

認知症でも運転能力のある人、認知症でなくても運転適性に欠ける人を、きちんと評価できる仕組みを一日も早く確立することを望みます。

一人では悩まずに仲間とつながりましょう
～悩みやご相談は「家族の会」へ～

つどい 本人や家族が集まり、交流や情報交換等を行っています

会報 介護体験、役立つ情報が満載の会報を会員向けに発行しています

電話相談 本部と全国47支部で相談に応じています